

# 理学療法かわら版

一般社団法人  
山形県理学療法士会

目次	理事リレーコラム…………… 1	未来を担うフレッシューズ紹介…… 8
	第 32 回 東北理学療法学術大会を 終えて…… 2	会員移動……………12
	各部活動報告 (医療保険部・研修部・生涯学習部)…… 3	施設紹介……………13
		編集後記……………14



## 理事コラム

山形県理学療法士会 学術局長  
山形県立保健医療大学  
鈴木克彦

今回のコラムの担当をさせていただきます、学術局長兼学術誌部担当理事の鈴木克彦です。学術局といたしましては、山形県理学療法学術大会の企画・運営の援助、学術誌「山形理学療法学」の編集・刊行が事業の大きな柱であり、多くの方々のご協力がなければ成り立ちません。そのなかでも演題発表者や論文投稿者のご協力がなければ、学術局の事業は成りえません。ご協力をありがとうございました。

さて、どうして学術大会や学術誌で発表をする必要があるのでしょうか？発表することにより新人教育プログラムや認定・専門理学療法士になるためのポイントを取得することができます。日本理学療法士協会のホームページでは、認定・専門理学療法士制度は新人教育プログラム修了者を対象に自らの専門性を高め、良質なサービスを提供する臨床能力を備えて理学療法の学問的發展に寄与する研究能力を高めていくことを目的とすると示されています。その中に3つのキーワード、①専門性を高めること、②臨床能力を備えること、③理学療法の学問的發展に寄与すること、がポイントと思います。「臨床能力を備えること」は専門的な理学療法の技術 art の部分を身につけることと解釈できますし、「学問的發展に寄与すること」は専門的な理学療法の科学 science を構築することと解釈できます。つまり、art と science の両面が専門的な理学療法士に必要なことを示しているのではないのでしょうか？

第 23 回山形県理学療法学術大会では 39 演題もの大変多くの発表がありました。そのうちの 21 演題が一症例報告の発表でした。それらの発表は、理学療法の経

過に伴う症例の変化が示されており、実施された理学療法の効果として先行研究による裏付けとともに考察されていました。このように発表することで、専門的な理学療法を有する者同士が意見を交わし、発表者自身の art と science がより高められたと考えられます。

日本理学療法士協会では平成 23 年 10 月に「理学療法診療ガイドライン第 1 版 (2011)」が作成され、ホームページ上で閲覧できるようになっています。16 の疾患・領域 (背部痛、腰椎椎間板ヘルニア、膝前十字靭帯損傷、肩関節周囲炎、変形性膝関節症、脳卒中、脊髄損傷、パーキンソン病、脳性麻痺、糖尿病、心大血管疾患、慢性閉塞性肺疾患、身体的虚弱 (高齢者)、下肢切断、地域理学療法、徒手理学療法) に分かれ、「理学療法評価 (指標)」の推奨グレードと「理学療法介入」の推奨グレード、エビデンスレベルなどが説明されています。このガイドラインは理学療法の標準化を行う目的で作成されているものです。まだ見たことない方は是非一読してみてください。その中の「理学療法介入」の推奨グレード分類があり、A・B・C1・C2・D のグレードに分かれています。この C1 とは「行うように勧められる科学的根拠がない」という定義であり、C2 とは「行わないように勧められる科学的根拠がない」という定義です。つまり、C2 と D のグレードの内容は、行うべき介入ではないことがエビデンスにあるということです。それぞれの疾患・領域の内容はかなりの分量がありますが、理学療法の標準化を図るためにも明日からの臨床の参考にしてみたいはいかがでしょうか。

## 第 32 回 東北理学療法学会を終えて

大会長 多田利信

去る 11 月 29・30 日の両日、山形テルサにおきまして第 32 回東北理学療法学会を開催させて頂きました。初日はあいにくの冷たい雨模様でしたが、多くのブロック会員に参加していただき盛会に終了することができました。先ずはご支援、ご参加ご協力頂きました多くの皆様に心よりお礼申し上げます。

思い起こすと 2 年半前の米沢での県学会からこの話は始まります。高橋俊章県士会会長より大会長を打診され、二晩悩んだことを覚えております。結果、自分のやりたいテーマでやらせて欲しいことと、主要役員（特に準備委員長）の人选は自分に決めさせて欲しいことを条件として承引させて頂きました。ここから自分のやりたいことを具現化する作業がスタートしました。もう既に結論をご存知の本会会員の皆さんには何の面白みも無いかもしれませんが、これが中々大変で、かつ、とてもやりがいのある仕事でした。

テーマは経済（からみた理学療法）とさせて頂きました。ともすると技術偏重にある理学療法士に、もっと世の中を考えて欲しい、とりわけ生々しい経済面も知って欲しい、そしてもっと世の中にこの仕事を評価され医療職として自信を持てるようにしたい、という長年の思いでした。もちろんそんなことは書くのは簡単ですが、具体的に誰にどんな話をしてもらったら実感させられるか？学会大会のレベルまで高められるのか？本当に悩みました。多くの医療経済の雑誌を読み、インターネットを検索したところ意外にもこの山形や近辺に適任者が多いことが分かりました。あとは一人一人に粘り強く交渉しました。当初、

門外漢のど素人が何を言っているのか？と思われた方もおりましたが、最終的には特別講演とシンポジウムはほぼベストなキャスティングが出来ました。セミナーも日本を代表する先生方を人選し口説きました。手前味噌ですが、昨今の社会状況も追い風となり今回の学会大会の中身はすばらしいものだったと自負しております。

ただし、唯一残念だったのは参加人数が伸びなかったことです。原因はおそらく履修単位にもならないこのテーマが若手うけしなかったことと、抄録発送が遅れて事前登録の期限に間に合わなかったことだと考えております。演題の集まりが遅く 3 週間ほど募集延長したのですが、システムの関係で更に遅れてしまいました。大会の収支を含めこの場をお借りしてお詫び申し上げます。

大会長を支えて下さった主要役員はまさに適材適所でした。先々と考え、思った以上の仕事をしてくださいました。そして多くを任せてくださった高橋県士会長、準備・実行委員のみなさん、ありがとうございます。もちろん参加したくても病院、施設を守るために参加できなかった皆さんにも敬意を表します。

最後に、これまでと一味違う今大会の閉会式にもふれます。なんと最近の結婚式さながらのエンドロールで大会の回想シーンが流れる中、岩井準備委員長が閉会宣言しました。映画アルマゲドンのテーマをエアロスミスがシャウトする選曲の効果はわかりませんが、大変感動的なラストでした。以上が大会を終えた感想です。

# 各部活動報告

## ● 医療保険部活動報告書 ●

医療保険部研修会「吸引技術研修会」を実施致しましたので、ここに報告させていただきます。

名称：吸引技術研修会

日時：平成26年11月16日（日）

13時～16時30分

会場：山形県立保健医療大学 基礎看護学実習室

講師：山形県立保健医療大学 看護学科

沼澤さとみ先生 半田直子先生

高橋直美先生

受講者：16名

スタッフ：林 知明（日本海総合病院）

舟山 卓（日本海総合病院）

楢沢眞平（新庄徳洲会訪問看護ステーション）

今川英俊（山形市立病院済生館）

加藤直也（山形市立病院済生館）

活動内容は、運営業務を中心に、受付、会場準備等を行いました。受講者16名、若手からベテランセラピストまで、幅広い方々からの参加がありました。

講義内容は、最初は吸引行為に関する基本的な解剖学等の知識を、座学にて学びました。その後、吸引用模擬患者を使用して実際の吸引の手順と手技を学びました。また、フィジカルアセスメントモデル“フィジコ”という模擬患者を使って、具体的な（正常や、雑音の混じった）肺音や心音の聴取の仕方を学びました。

受講生からは「養成校では習わなかったことが多く、大変参考になった」「吸引の手順や方法を確認することが出来た」という感想がありました。しかし、実際の臨床場面では、まだまだ理学療法士による吸引行為が浸透しているとは言い難く、今後も継続した活動が必要であると考えられました。



[ 講義風景 ]

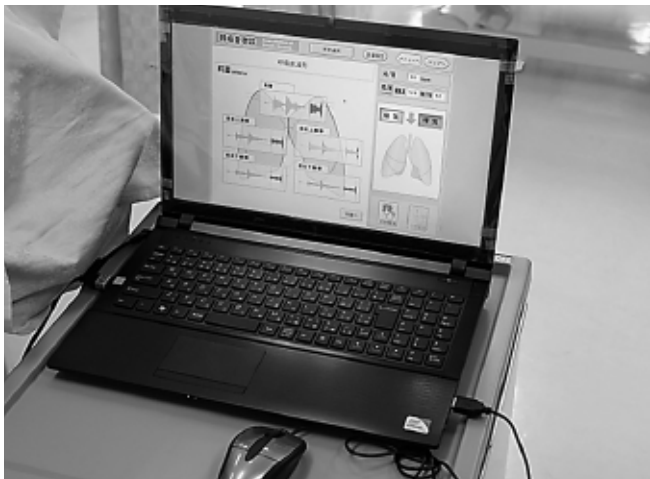


[ 実技風景 ]



肺雑音が聞こえる人形で聴診も教えていただきました。





平成 26 年 11 月 16 日  
山形市立病院済生館  
加藤直也



## ●医療保険部活動報告書●

平成 26 年度山形県理学療法士会第 1 回医療保険部研修会「がんリハビリテーション懇話会」にて運営活動を行いましたので、以下に報告させていただきます。

名称：がんリハビリテーション懇話会  
日時：平成 26 年 9 月 28 日（日）  
会場：霞城セントラル 4 階  
山形市保健センター 栄養研修室  
活動内容：研修会の運営  
スタッフ：阿部 幸司（庄内余目病院）  
林 知明（日本海総合病院）  
舟山 卓（日本海総合病院）

活動内容は運營業務、会場準備を行いました。参加者 11 名、急性期病院から訪問リハまで幅広い領域でがん患者様との関わりがある先生方からご参加いただきました。

懇話会としての内容は、がんにおける病期別のケーススタディーを通し、周術期や緩和期患者様との関わりで理学療法士に求められること、リハビリチームとして他職種との情報共有方法などについての意見交換を行いました。

参加者からは「普段は関わることの少ない病期についても学ぶことが出来た」、「緩和期では身体面だけではなく、ご本人・ご家族のメンタルケアも含め理学療法士として関われる事があるのだと感じた」などの声があり、有意義な研修会になったと思われまます。

2014 年 11 月 16 日  
日本海総合病院  
舟山 卓



ケーススタディーを通し、がん患者様との関わり方について学びました。

山形県より、福祉用具販売・取付の推薦を  
いただき、官公需適格組合証明を取得

**協同組合 生活住環境整備山形**

〒990-0805 山形市檀野前 13-2

TEL 023-681-5030 FAX 023-681-7609

## 安心と信頼

・前腕義手・股義足・下腿義足・骨格構造義肢・  
(大腿切断を含む)

・腰・胸椎装具・靴型短下肢装具・歩行補助つえ・車イス・  
(コルセット)

山形県指定一級義肢装具士

**安達武雄**  
**安達ブレイス製作所**

安達 武雄  
山形市江保 3 丁目 15-1  
☎(023) 681-0456



## ● 研修部活動報告書 ●

平成 26 年度山形県理学療法士会第 2 回研修部研修会「より暮らしやすい生活環境支援」にて運営活動を行いましたので、以下に報告させていただきます。

名称：より暮らしやすい生活環境支援

日時：平成 26 年 9 月 21 日（日）

講師：松葉貴司 先生

（横浜市総合リハビリテーションセンター）

会場：山形県立保健医療大学

活動内容：研修会の運営

スタッフ：早坂奈緒子（篠田総合病院）

渡辺浩太（篠田総合病院）

山本洋介（山形徳洲会病院）

宮本昌尚（北村山公立病院）

活動内容は運營業務を中心に受付、会場係、講師接待を行いました。受講生 29 名、主に介護保険分野で働く先生方が中心に受講されていました。

講義内容は講師の経験談を踏まえた実践からのアドバイスが多く、生活空間や移動を考慮しての住宅改修、そして福祉用具の活用方法などご講義頂きました。また横浜と山形との地域性の違いや考えの違いについても話して頂きました。午後からは症例検討としてグループワークを行いました。2 症例についてグループ毎に話し合い、発表し講師より意見を頂きました。

受講生からは「グループワークが楽しく行えた」、「横浜と山形との地域性の違いについて驚いた」、「これからの住宅改修や福祉用具の説明の幅が広がった」などの声があり、今後に繋がる研修となったと思われます。

2014 年 10 月 9 日

篠田総合病院

早坂奈緒子



実践的な内容の講義と、グループワークを通し環境支援を学ぶことができました

	厚生労働省 山形県指定 福祉法義肢製作所指定
	<b>山形義肢研究所</b>
有限会社	代表取締役 植松茂夫
営業品目 義手・義足・コルセット・補装具 補助ステッキ・松葉杖・車いす 整形医療器具	山形市飯田五丁目5番39号 電話 (023) 632-5214

	◆山形県厚生省労働省指定◆
<b>(有) 渡部義肢</b>	
◆営業品目◆	
義足・義手、コルセット、車椅子、ステッキ、下肢装具、上肢装具、骨格義足(モジュラー)	
〒997-0861 山形県鶴岡市桜新町8番地52号 TEL(0235)25-9366 FAX(0235)25-9364	

## 平成 26 年度 第 2 回 生涯学習部研修会活動報告

新人教育プログラム研修会を開催致しましたので、  
以下に報告します。

開催日時：平成 26 年 9 月 7 日（日）  
9:40 ～ 16:10（受付 9:00 ～）

開催会場：山形医療技術専門学校  
4 階 レクリエーション室

参加者：75 名（新人教育プログラム未修了者、県  
外受講者を含む）

スタッフ：

石川 雅 樹（山形大学医学部附属病院）  
中川 悠 介（天童市民病院）  
庄 司 宏 香（新庄徳洲会病院）  
秋 野 千 穂（鶴岡協立リハビリテーション病院）  
高 橋 忠 清（公立置賜総合病院）  
設 楽 和 寿（三友堂リハビリテーションセンター）  
戸 田 直 智（三友堂リハビリテーションセンター）  
大 森 允（山形大学医学部附属病院）  
村 田 宙（山形大学医学部附属病院）  
辺 見 千 佳（山形大学医学部附属病院）

内容：新人教育プログラム 選択テーマ 5 単位

9:40 ～ 10:40 「ティーチングとコーチング」(E-2)

山形県立保健医療大学 中野渡達哉 先生

10:50 ～ 11:50 「症例報告・発表の仕方」(B-4)

山形医療技術専門学校 長 沼 誠 先生

12:50 ～ 13:50 「高齢者の理学療法」(C-4)

三友堂病院 小 関 和 幸 先生

14:00 ～ 15:00 「地域リハビリテーション」(C-5)

特別養護老人ホームおさなぎ 三 瀧 英 樹 先生

15:10 ～ 16:10 「社会の中の理学療法」(D-1)

公立置賜総合病院 阿 部 宣 行 先生



長沼 誠 先生



高橋俊章 会長 挨拶



小関 和幸 先生



中野渡 達哉 先生



三瀧 英樹 先生



阿部 宣行 先生

## ■「受講生の一言」

### 「第2回生涯学習部研修会を通して」

新庄徳洲会病院 大場 美紀

第2回生涯学習部研修会に参加して、「高齢者の理学療法」「地域リハビリテーション」に関して大変興味深く学ばせて頂きました。理学療法士になり約半年経ち、徐々に職場内での仕事に慣れるとともに、外部での介護予防やボランティア等の仕事にも携わるようになりました。私の働く新庄市・最上地域は県内で最も高齢化が進んでいる地域であり、患者様のほとんどが高齢者の方々です。地域の高齢者の方々が住み馴れた場所で安全にそして自分らしく生活できるようにするにはどうすべきか日々考え療法にあたっています。

最近介護予防事業・地域包括ケアシステムといった言葉を多く耳にします。団塊の世代が高齢者の年齢に達し、介護を要する高齢者が急速に増える時代が到来すると言われていています。その対策として、なるべく介護を必要とせずに、いきいきと生活するための保健・予防活動の普及を推進することが必要とされています。今後もさまざまな勉強会に参加し、理学療法士として自己技術を研磨するだけでなく、患者様の生活や地域にも目を向け、介護や支援を必要とする高齢者の方々が地域で支える体制づくりに理学療法士として携わっていききたいと思います。

### 「地域や社会の中での理学療法士」

鶴岡協立リハビリテーション病院 石澤 誠

入職から約半年が過ぎ、業務の流れを把握してきましたが、まだまだ分からない事ばかりで先輩方にアドバイスを頂きながら日々奮闘しております。

今回の研修では地域や社会の中で理学療法士がどのように活躍しているのか、またすべきなのかの基礎を学ぶことが出来ました。病院で働くうえでも保険や制度に関する知識は必要ですが、地域や社会の

中ではより深い知識や理解が必要だと感じました。また、それらの内容を理解して頂くために分かりやすい言葉で話すことも必要であると考えました。

現在は地域包括ケアシステムの確立に向けてリハビリ全体で取り組んでいますが、将来取り残されてしまわないように、今やるべきことの把握に日々努力していきたいと思っています。また、介護予防事業にも機会があれば積極的に参加したいと思っています。

## ■「先輩より一言」

天童市民病院 中川 悠介

新人の皆様、仕事には慣れてきましたか？職場に慣れ、仕事も徐々に任せられてくるころでしょうか？そこで皆様には今一度、自分の治療を見つめなおしていただきたいと思っています。毎日の業務がルーチンワークになっていませんか？何事もそうだと思いますが、自分の行なっていることが Best な選択なのか、常に疑問を持ちながら仕事に向き合う必要があると思います。ましてや医療の世界は日進月歩、理学療法も同じで日々自己研鑽が必要であると感じています。私も研修会に参加するたびに自分の未熟さを実感し、より研鑽しなければと感じる日々です。

これからも患者様・利用者様のために自己研鑽に励み、自分の理学療法を磨き上げていきましょう。同じ理学療法士の仲間として共に頑張っていきましょう。



受講生の皆さん



多数のご参加ありがとうございました。

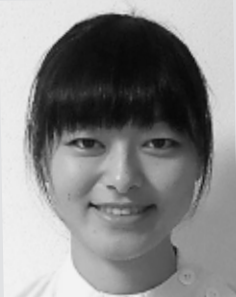


未来を担う

# フレッシャーズ紹介

フレッシャーズ紹介 内容

①勤務先 ②経験年数 ③出身地 ④出身校 ⑤趣味・特技 ⑥コメント



三宅 郁絵

- ①山形済生病院
- ②1年目
- ③尾花沢市
- ④山形県立保健医療大学
- ⑤ひとりカラオケ
- ⑥感謝の気持ちを忘れず頑張ります。よろしくお願いします。



大塚 美華

- ①介護老人保健施設さくらパレス
- ②1年目
- ③山形市
- ④山形医療技術専門学校
- ⑤テニス、買い物
- ⑥患者と信頼関係を深めて、親しみやすい理学療法士を目指して頑張っていきます！



武田 静香

- ①寒河江やすらぎの里
- ②1年目
- ③尾花沢市
- ④山形医療技術専門学校
- ⑤バドミントン、映画鑑賞
- ⑥利用者様との信頼関係を大切に、いつも笑顔で頑張りたいと思います。



阿部 結香

- ①三友堂病院
- ②1年目
- ③山形市
- ④山形医療技術専門学校
- ⑤友達と旅行
- ⑥日々成長していけるように頑張ります。



阿部 侑司

- ①鶴岡市立湯田川温泉  
リハビリテーション病院
- ②7年目
- ③酒田市
- ④酒田西高→千葉・柏リハビリテーション学院
- ⑤早食い・スポーツ観戦
- ⑥切磋琢磨し、常に向上心を持って臨床に取り組んでいきたいです。



安藤 未佳

- ①介護老人保健施設シェ・モワ
- ②1年目
- ③遊佐町
- ④東北文化学園大学
- ⑤旅行、食べ歩き
- ⑥利用者様に信頼されるPTになれるよう日々努力していきたいと思います。



武田 洋

- ①宝田整形外科クリニック
- ②1年目
- ③山形県鶴岡市
- ④仙台医健専門学校
- ⑤剣道、スノーボード
- ⑥日々笑顔を大切に患者様と向き合っていき、技術だけでなく人間性としても成長していきたいように頑張ります。



渡部 佳志

- ①庄内余目病院
- ②1年目
- ③山形県鶴岡市
- ④山形医療技術専門学校
- ⑤釣り
- ⑥よろしくお願いします。



太田千晴

- ①庄内余目病院
- ②1年目
- ③山形市
- ④山形医療技術専門学校
- ⑤DVD鑑賞
- ⑥何事も全力で頑張ります。



齋藤千穂

- ①酒田医療センター
- ②1年目
- ③遊佐町
- ④山形医療技術専門学校
- ⑤映画鑑賞
- ⑥積極的に勉強会に参加し、知識を深めていきたいと思います。



伊藤 蓮

- ①篠田総合病院
- ②1年目
- ③上山市
- ④山形医療技術専門学校
- ⑤車、ドライブ
- ⑥すべては患者様の為に！



遠藤 悠

- ①東北中央病院
- ②1年目
- ③天童市
- ④東北文化学園大学
- ⑤サッカー観戦
- ⑥日々、努力してまいります。



奥山哲平

- ①山形市立病院済生館
- ②1年目
- ③山形市
- ④山形医療技術専門学校
- ⑤サッカー
- ⑥患者様のために日々精進していきます。



橋間美咲

- ①岡協立病院
- ②1年目
- ③山形県寒河江市
- ④山形医療技術専門学校
- ⑤買い物、音楽鑑賞、釣り
- ⑥患者様が安心してリハビリが受けられるように、気持ちにより添いながら理学療法を提供していきたいです。よろしくお願ひします。



原 崇之

- ①至誠堂総合病院
- ②1年目
- ③鶴岡
- ④山形県立保健医療大学
- ⑤サッカー、スノーボード
- ⑥患者様と一緒にリハできる理学療法士になりたいです。



佐藤克哉

- ①三友堂リハビリテーションセンター
- ②1年目
- ③長井市
- ④山形医療技術専門学校
- ⑤森林浴
- ⑥まだまだ力不足な事も多く迷惑をおかけしますが、精一杯頑張りますのでよろしくお願ひします。



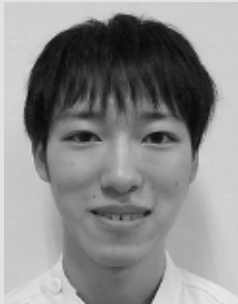
富樫奈紗

- ①三友堂リハビリテーションセンター
- ②1年目
- ③南陽市
- ④山形医療技術専門学校
- ⑤サッカー観戦、caf?巡り
- ⑥入社して半年以上が過ぎましたが、まだまだ慣れないことばかりで迷惑をおかけしますが少しでも患者様の為になれるように頑張ります。よろしくをお願いします。



木村枝里菜

- ①三友堂リハビリテーションセンター
- ②1年目
- ③南陽市
- ④山形県立保健医療大学
- ⑤ドライブ
- ⑥笑顔を忘れずに明るく元気に頑張ります。



榎本崇紀

- ①三友堂リハビリテーションセンター
- ②1年目
- ③村山市
- ④山形県立保健医療大学
- ⑤クレーンゲーム、ギター
- ⑥一人ひとり患者様との関わりを大切に、笑顔を決やさずこれからも頑張っていきたいと思えます。



佐藤洋一郎

- ①在宅リハビリ看護ステーションつばさ
- ②1年目
- ③宮城県
- ④仙台医療技術専門学校
- ⑤競馬、ゴルフ
- ⑥健康に気をつけてがんばります。



齋藤美穂

- ①サテライト老健のぞみ
- ②6年目
- ③鶴岡市
- ④晴陵リハビリテーション学院
- ⑤ゲーム
- ⑥山形の雪にまけず、たくましく過ごして行きたいです！よろしくをお願いします！



三浦直樹

- ①篠田総合病院
- ②1年目
- ③尾花沢市
- ④山形医療技術専門学校
- ⑤スノーボード
- ⑥「笑顔」の為の自己研鑽！



深谷政滋

- ①国立病院機構山形病院
- ②1年目
- ③福島県東白川郡
- ④東京衛生学園専門学校
- ⑤読書、スポーツ
- ⑥PTとしての研鑽を積み、リハビリに表せるようにしていきたいです。



菅原夢一

- ①新田クリニック
- ②1年目
- ③山形市
- ④山形医療技術専門学校
- ⑤車とラーメンと時々2次元
- ⑥常に患者様のことを考えられるファンの多いPTになれるよう頑張ります！





石山 朋憲

- ①新田クリニック
- ②1年目
- ③上山市
- ④高崎健康福祉大学
- ⑤酒とモンテと時々料理
- ⑥毎日を大切にし、業務に流されること無く日々ベスト尽くしていきたいと思っています。



石山 亮介

- ①至誠堂総合病院
- ②1年目
- ③山形市出身
- ④山形県立保健医療大学
- ⑤サッカー、ドライブ
- ⑥向上心、反骨心、自信を持って日々前進していきます！よろしくお祈りします！



川島 千尋

- ①山形ロイヤル病院
- ②1年目
- ③山形市
- ④山形医療技術専門学校
- ⑤フットサル・スノーボード
- ⑥臨床に出て分からないことが多く苦悩する毎日ですが、先輩方に教えていただきながら患者様の役に立てるPTを目指して精進していきます。



鈴木 郁美

- ①北村山公立病院
- ②1年目
- ③村山市
- ④山形県立保健医療大学
- ⑤スポーツ、旅行、カラオケ
- ⑥「この人にリハビリしてもらってよかった」と思っていたけるような理学療法士を目指し努力していきます。



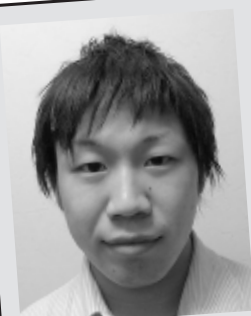
長岡 大紀

- ①山形ロイヤル病院
- ②1年目
- ③山形市
- ④山形医療技術専門学校
- ⑤野球・スノーボード
- ⑥日々努力し、成長している様に頑張っていきたいです。



大類 志穂

- ①新庄徳洲会病院
- ②1年目
- ③尾花沢市
- ④山形医療技術専門学校
- ⑤スノーボード・ハンドボール
- ⑥足りない知識を身に付け、患者様の笑顔を引き出せるようなPTを目指し頑張りたいと思います。



田中 奨也

- ①社会福祉法人米沢弘和会サンプラザ米沢
- ②1年目
- ③飯豊町
- ④山形医療技術専門学校
- ⑤スポーツ・読書
- ⑥利用者のためのリハビリを目指して頑張っています。理学療法士として、スキルアップのために講習会などにも積極的に参加していきたいと思っていますのでよろしくお願いします。



梅木 淳

- ①鶴岡協立リハビリテーション病院
- ②1年目
- ③鶴岡市
- ④新潟医療福祉大学
- ⑤野球、ボクシング
- ⑥患者様に愛される理学療法士になります。



小野寺優

- ①鶴岡協立リハビリテーション病院
- ②1年目
- ③鶴岡市
- ④山形県立保健医療大学
- ⑤バスケットボール
- ⑥患者様やご家族、スタッフ方に信頼していただけるPTになれるように頑張ります。

## ■会員移動 (平成26年12月28日現在)

### 【勤務先変更】

三浦恵美子	寒河江市立病院
武田健一	至誠堂総合病院
丹野則子	山形県立新庄病院
守一彦	山形県立中央病院
武田麗子	訪問看護ステーションやまがた
姉崎友香	訪問看護ステーションハローナース
舟山朋浩	小国町立病院
芳野岳	至誠堂訪問看護サービスセンターコスモス
大沼くみ	サテライト老健ちわら
佐藤梨香	介護老人保健施設シェ・モワ
吉田朋恵	介護老人保健施設明日葉
柴田哲也	山形県総合コロニー希望が丘
櫻井桂子	リハビリテーション颯 山形霞城
相澤裕矢	特別養護老人ホーム寿泉荘
奥山哲	Body care salon mizizi
佐藤康之	鶴岡市立湯田川温泉リハビリテーション病院
石川洋史	訪問看護ステーションナーシングなごみ
佐藤徳香	障がい者支援施設光生園
横山育子	特別養護老人ホームみはらしの丘
石黒奈美	湖山病院訪問看護ステーション
鈴木純	ひまわり荘
有路慶子	訪問看護ステーションやまがた
須貝妙子	ケアタウンやすらぎの里金井
庄司宏香	新庄徳洲会病院
浦山樹	山形大学医学部附属病院
高野貴志	みゆき会病院
守谷好史	国立病院機構山形病院
斎藤美穂	サテライト老健のぞみ
五十嵐由美子	自宅
鈴木健太	自宅

佐藤沙弥香	自宅
長橋未央	自宅

### 【改姓】 旧姓

山口綾香	清野
横山育子	角田
渡部美聡	佐藤
菊野聡美	山口
大場寛乃	山本
田中香織	井田
本間和	茂山
荒木小百合	本間
若林加奈子	浦山
海老名智里	小住
佐藤沙弥香	須藤
竹田舞子	浅利

### 【他士会から転入】

後藤祥子	青森県より
栗田幸平	宮城県より
菅野友理	福島県より
會田展也	埼玉県より
富樫沙織	東京都より
尾崎広和	福島県より
佐藤貴史	石川県より

会員数	743名	施設数	148施設
賛助会員	16社		

# 施設紹介

## 新庄徳洲会病院

当院は、県北の新庄市に位置し、病床数 270 床の一般病院です。リハビリテーション科のスタッフ構成は、P15 名、OT9 名、ST3 名、助手 2 名で、合計 29 名所属しています。今年で開設から 16 年目となり、近年の当院の方針として、在宅生活に対する支援を強化しているため、回復期リハビリテーション病棟（365 日診療体制）、訪問リハビリ、通所リハビリ、介護予防事



業（1市2村にて実施）を特に強化して取り組んでいます。

また、リハビリテーション科を中心とした若手メンバーで徳洲会ソーランガール（TSG）を結成し、地元のお祭りやイベントなどで踊りを披露しながら地域住民との交流を図っています。

これからも、地域のニーズを理解し、地域の皆様にとって愛され、そして必要とされる病院作りを目指してスタッフ一同頑張っていきます。

## 山形済生病院

当院は、山形市の北部、馬見ヶ崎川沿いに位置する 473 床の急性期病院です。リハビリテーション部は理学療法士 26 名、作業療法士 13 名、言語聴覚士 5 名、福祉用具相談員 1 名、受付係 1 名の 46 名で構成されております。リハビリテーション部内には各治療室の他に介護・福祉用具相談室が新たに設置されました。

ここではセラピストと福祉用具相談員が連携し、利



用者に合わせた福祉用具選択のアドバイスや制度説明を実施しています。当センターでは急性期リハビリテーションを実施するため入院患者は 365 日診療体制を実施しています。大きく整形外科治療チームと他科治療チームに分かれ、より専門的なリハビリテーション治療を心がけています。また、最近では脳卒中患者に対しての装具療法や患者様に合わせた足底板の処方にも力を入れています。スタッフ数も毎年増加しています。コミュニケーションを大切にして、知識や治療技術の向上のため切磋琢磨できる職場を目指しています。



医学書のことならお任せください



日本医書出版協会認定医学書専門店  
医学書、看護学書、医書・一般

株式会社 高陽堂書店

山形市大町3-1-17 TEL 023(631)8881 FAX 023(632)1188  
http://www.koyodo.com/ email info@koyodo.com



オーダーメイドの福祉用具

株式会社 ライフケアサポート

山形県東根市温泉町1-13-10  
TEL0237(43)6833 FAX0237(43)6832

福祉用具開発・レンタル販売 <http://www.tamatsu.jp>



本社 山形県鶴岡市美咲町32-7(〒997-0857)  
TEL 0235-23-6333/FAX 0235-25-3889

質の高い福祉用具・レンタルサービスで  
介護保険を応援します。

◎福祉用具レンタル ◎福祉用具販売 ◎住宅改修

オムニスグループ



株式会社 歳王サプライズ

事業本部：山形市北町2-6-6 TEL (023) 682-7631

## 山形小木医科器械株式会社

山形市北町三丁目8番20号  
電話 (023) 681-3633 (代)

福祉機器・介護用品販売レンタル/車いすオーダー制作

(有)アシスト

〒991-0048 山形県寒河江市みずき一丁目6-4  
TEL(0237)83-5525/FAX(0237)85-5454

E-mail:assist@corp.email.ne.jp

明日への地域医療・高度医療に貢献する  
一信頼される技術とサービスを人へ社会へ地域へ



本社 〒984-0015 仙台市若林区卸町二丁目11-3  
TEL 022(236)2311 (代表) FAX 022(236)2362

・山形支店・庄内営業所・鶴岡営業所・郡山営業所・ヘルスケアセンター・物流センター・メンテナンスセンター  
ホームページ：[www.shibaintech.co.jp](http://www.shibaintech.co.jp)

思いやりリハビリ・まごころケア

(有)福祉用品やまがた

介護用品ショールーム

〒998-0842 山形県酒田市亀ヶ崎4-2-40  
電話 (0234) 26-1725  
FAX (0234) 26-6780



義肢・装具・車いす  
他整形医療器具製造・販売

(有)エムサポート

〒990-2212 山形市上柳110  
TEL(023)687-2800 FAX(023)687-2812  
取引銀行 山形銀行宮町支店(普通)0241881



医療機器・福祉用具販売レンタル  
TOTAL MEDICAL COMMUNICATION

株式会社 トーク

日医器流通正事業所 第9406017号  
福祉用具貸与事業所 0670700434

E-mail:took@coral.ocn.ne.jp

〒997-0806

山形県鶴岡市遠賀原字稲荷41-2

TEL (0235) 22-1009 FAX (0235) 25-8139

## 編集後記

「かわら版」第10巻が発行になりました。今年度から「かわら版」は2回発行になり、その2巻目になります。11月に行われました東北学会を、「東北学会を終えて」と題して多田大会長にも書いていただきました。フレッシューズもボリュームUPし、研修会報告も多く、内容盛りだくさんの内容で作りあげることができました。お忙しい中ご協力ありがとうございました。来年度もよろしくお願いいたします。

なお、広報部では引き続き掲載原稿をお待ちしております。何か掲載してほしいものがございましたらお気軽にご連絡ください。HPへの掲載も受け付けております。よろしくお願いたします。

三友堂リハビリテーションセンター

島貴

福祉用具の製作・販売・レンタル

風の郷工房(有)

座位保持装置・車椅子  
電動車椅子・歩行器など

東置賜郡高島町一本柳2535-1

TEL 0238-52-1446 FAX 0238-52-1411

URL: <http://www.kazenosato.co.jp/>

医療の未来を見つめる総合商社



岡崎医療株式会社

■本社 山形市あこや町三丁目4番3号  
■山形営業所 〒990-0025 ☎023(代)623-0546番  
■鶴岡営業所 鶴岡市大字安丹字村上4番10号  
〒997-0057 ☎0235(代)22-0106番

■発行/一般社団法人 山形県理学療法士会

■発行者/高橋 俊章

■編集者/田中 基隆

■広報部/三友堂リハビリテーションセンター

〒992-0057山形県米沢市成島町3丁目2番90号 TEL(0238)21-8100

FAX(0238)21-8119

E-mail:ptkouhoubu@yahoo.co.jp